

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、高2の夏と高3の秋に同志社女子大学のオープンキャンパスに行き、ここから自分が4年間英語の勉強をやり続けられるということと、少人数クラスの授業で先生方がサポートしてくださることという事に魅力を感じて、同志社女子大学を志望校に決めました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

私は、5月まで部活を続けていましたが、高2の冬休み頃から部活おわりに塾の自習室に向って勉強していました。塾の先生から第一志望に役かりたいからまず英語!とされていたので、夏休み前まではまず、と英語をやっていました。1学期のうち、行きたい大学の赤本を解くのではなく、模試の結果を出すための勉強をするのが良いと思います。

〔夏休み〕

夏休みの中頃に模試があると思いますが、私はその模試で良い結果を出すことを目標にして、まずセンター試験鳥獣の過去問を10回分くらい解きました。私の場合は、夏の模試が終わってから初めて第一志望の大学の赤本を解きました。正直、良い点数は取れないと思いますが、その大学の問題の傾向を知ることでその後の勉強に生かせると思います。私は夏休みの少し前から社会科目(日本史)の勉強を本格的に始めましたが、入試直前まで日本史の勉強に追われて苦労したので、早目にコツコツ勉強することをオススメします。

〔2学期～入試直前〕

私は、2学期から国語と日本史に重点を置いて勉強をはじめました。現代文はひたすら問題を解いて形式に慣れること、古典は古文単語帳をある程度覚えてからセンター試験鳥獣の過去問を解いていました。国語は何度も演習を積み重ねることでだんだん慣れてきます。日本史は一問一答と問題集を並行して解いていました。覚えただけで定着するまでかなり時間がかかるとは思いますが、年が明けにくらからだんだん定着してくるので諦めずに頑張ってください。そして、1月から本格的に赤本を解きはじめました。第一志望の大学の赤本ばかり解くのではなく、他の大学の分も解いて色んなパターンに慣れることが大事だと思います。私は、この時期に英単語や古文単語をさぼりがちになっていたので、この時期こそ基本を大切にしてください。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は、高3の5月頃からSNSの使い方について考えるようになりました。このままの使い方はダメだと思い、LINEなどのいるものだけ残して、ツイッターやインスタ、ユーチューブのアプリは消しました。SNSを思えば程度に使える人は消さなくてもいいと思いますが、私のように暇にはなるとついスマートフォンをさわってしまう人は、一度アプリを消してみるのも良いと思います。次にスランプについてです。私は国語の現代文の得点に涙があって苦労しました。現代文の点数が安定しない人はたくさんいると思いますが、私は点数が取れない時は自分で気付いてないだけで文章を目で追っているだけになることがよくあったので、丁寧に読むことをもう一度思い出し読んでみる、制限時間を決めずにやってみると上手くスランプを抜けられるかもしれません。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強は早いことが多くて諦めにくくなることもあるかもしれませんが、終わってから考えてみると受験勉強は一瞬だったのだと思います。私も受験勉強をしている時は、もしこのまま2年後から戻ったらどうしようかという不安がずっとありましたが、今思えばあんまり悩む時間があったら他にやるべきことがあったんじゃないかと思っています。みなさんは、全部が終わってから後悔することがないように1日を大切にしてください。